広島とともに、皆さまとともに80年。

たくさんのご応募、ありがとうございました
エッセー「福屋と私」

福屋の創業80周年を記念して、平成21年6月1日から7月31日まで、「福屋と私」のエッセーを募集しました。応募作品の中から一部、この紙面に紹介させていただきます。

山元様からお寄せいただいた60年前に福屋で購入されたバラに蝶が描かれている赤いランドセル

わたしの宝ものは嫁入り道具と一緒に
山元三代子（65歳）（広島市安佐北区）

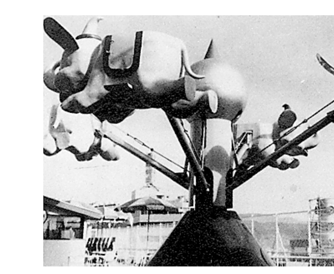
大正育ちの母との過ぎ去りし日々
沖本フジ子（65歳）（岩国市）

広島の思い出
阿川弘之

昭和4年10月4日(金)、中国新聞朝刊で開店後の「御礼」広告。大盛況のあまり、不行き届きのお詫びと今後もよろしくと結ばれている（福屋年史資料）

好奇心でいっぱいだった旧福屋のエレベーター
田川盛男（86歳）（広島市西区）

大好きな父への恩返し
中島美智子（46歳）（廿日市市）

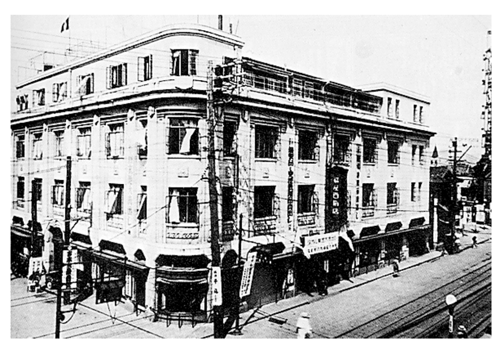


昭和40年頃、子供たちに人気があった空飛ぶダンボや回転カップなどの遊具（福屋年史資料）

文字盤にはMADE BY SEIKOSHA TOKYO JAPANの表示。79年間大切に使われてきた福屋開店一周年記念の景品で一等賞の置時計。この置時計は金子様からお借りした

七十九年間時を刻み続ける置時計
金子隆一（69歳）（広島市南区）

日曜日は電車に乗ってファミリーレストランへ
山口智恵子（40歳）（呉市）



広島では当時珍しかった鉄筋コンクリート造りの4階建の福屋旧館（福屋年史資料）

大変な時代を生きぬき福屋も私も80年
古元静子（81歳）（広島市佐伯区）

昭和50年頃、9階ファミリーレストランとのれん食堂街（福屋年史資料）

新館建設の折、掘削工事中に発掘されたイセシロガイの半化石。深さ13m〜14mの黒灰色粘土層に混ざっていた（福屋年史資料）

一番輝いていた母の福屋時代
辻直子（61歳）（三次市）

辻様からお寄せいただいたお母様の福屋時代の写真。向かって一番右がお母様で、福屋屋上にて撮影

お茶目な母は汽車の窓からお菓子を…
河野小夜子（62歳）（広島市西区）

創業当時の女子従業員の服装。きものの上に事務服、白足袋の草履ばきでした（福屋年史資料）

テレビなんかない時代のぞきカラクリに夢中
金田満男（58歳）（山口県岩国市）

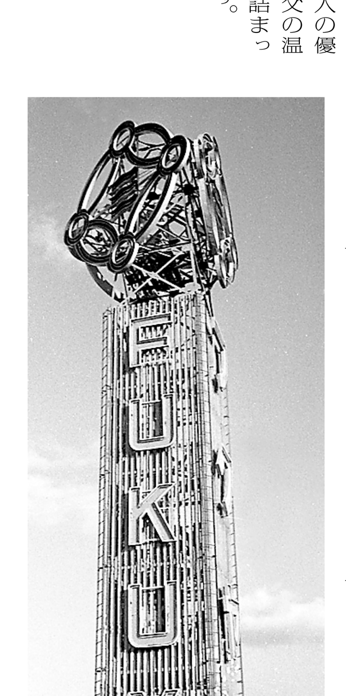
忘れられないホットケーキの味
国安希望（50歳）（広島市安芸区）

昭和47年、カーネーションから早川良雄氏デザインの雲の包装紙と買物袋が登場（福屋年史資料）

子ども心をワクワクさせた雲のショッピングバッグ
岩本紀子（58歳）（広島市西区）

福井様からお寄せいただいた「少年の日の記憶」と題した福屋映画の思い出コーナーのイラスト

記憶の中の福屋の七宝マーク
福井英二（59歳）（広島市安佐南区）



昭和31年、屋上に高さ31.3mの大ネオン塔が完成。頂部に赤い福屋のマーク(2基)、広島初の6段転写装置が設けられ、当時はほとんど全市から望見された（福屋年史資料）

福屋劇場で得た文化の香りと心の糧
久村敬夫（73歳）（安芸郡府中町）

30年頃、7階の福屋劇場は日活のアクション映画全盛期だった（福屋年史資料）

「福屋全部、買うてやる」
飯田隆子（52歳）（広島市佐伯区）

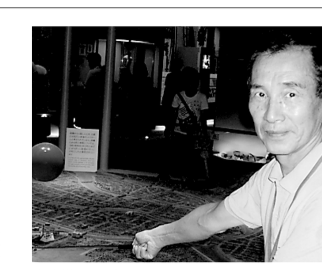
授業を欠席しオープンに直行
山方浩（29歳）（呉市）

実家の筆笥の中から40年前がよみがえる
堀田由美子（66歳）（広島市西区）

今年、開店10周年を迎えた福屋広島駅前店

祖父と父と私の三代福屋とつながる縁
森脇透（65歳）（広島市中区）

【編集後記】



森脇様からお寄せいただいた原爆資料館でガイドされているご本人の写真

「福屋と私」エッセーに、郵便やメールで100通近くお寄せいただきました。ありがとうございました

『福屋と私』エッセー編集室

広島とともに80年
Fukuya
広島・福屋 http://www.fukuya-dept.co.jp